

平成22年

9月

行事予定表

日	曜	行	事
1	水	大掃除・始業式・服装検査・防災講話	就職書類発送
2	木	第2回実力テスト(①~③) ④6限の授業	
3	金	クラスマッチ 午前中授業(①②③④3限~6限)	
4	土	ガス溶接技能講習会(本校)	
5	日	ガス溶接技能講習会(本校) 第三種電気主任技術者試験	
6	月	就職受験指導(3年:4限)	カールカウペラー来校日(進課)
7	火		
8	水		(進課)
9	木		
10	金		第3回PTA役員・理事会(進課)
11	土		
12	日		アイデアロボット香川県予選(志度高)
13	月		カールカウペラー来校日(進課)
14	火		
15	水		(進課)
16	木	第2回英語小テスト	
17	金		諸費等口座引落日(進課)
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火	秋の交通安全県民運動~9/30	
22	水		(進課)
23	木	秋分の日 三豊・観音寺地区弓道大会(本校)	
24	金		(進課)
25	土		
26	日		
27	月		カールカウペラー来校日(進課)
28	火		
29	水		(進課)
30	木		
		就職面接指導(9/1~9/13) 持久歩大会(10/8) 中間考査(10/19~22)	入社選考試験(9/16~) 第一種電気工事士試験(筆記試験・10/3) 三豊工祭(10/30,31)

INFORMATION

2学期の主な行事(予定)

- ☆9/10(金)第3回PTA役員・理事会 ☆10/8(金)持久歩大会 ☆10/19(火)~10/22(金)中間考査
- ☆10/30(土)三豊工祭(非公開)・サイエンスフェスタ(招待),
- 10/31(日)三豊工祭・サイエンスフェスタ(一般公開) ☆11/16(火)~19(金)2年生修学旅行
- ☆12/7(火)~12/10(金)期末考査 ★12月下旬:進学説明会(対象:希望生徒・保護者) 1, 2学年



香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689 観音寺市大野原町大野原 5537 番地
TEL (0875)52-3011 FAX (0875)52-3012

ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/> E-mail mitokh01@kagawa-edu.jp
連絡・お知らせ用 <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/> (携帯電話からご覧になれます)

防災の日

教頭 織田潤二

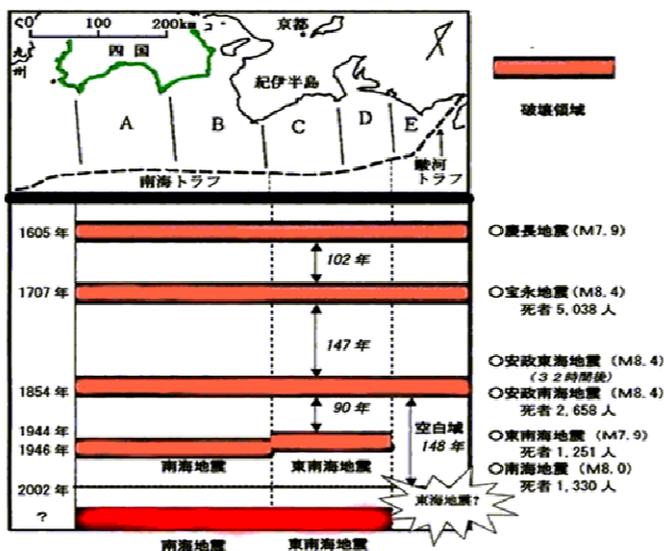
9月1日は「防災の日」です。これは、今から87年前の1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災(死者・行方不明者:約14万人)にちなんだものです。この地震は相模トラフのプレート境界型地震でした。

1995年(平成7年)1月17日の阪神・淡路大震災(死者・行方不明者:6,437人)は「六甲-淡路断層帯」と呼ばれる活断層のずれが原因です。この活断層と呼ばれるものは、日本に2000近くあると言われ、全国47都道府県すべてに存在します。香川県には「長尾断層」が、また、近くにはA級活断層(全国で11カ所)である中央構造線〔吉野川沿い〕があります。地震の規模を示すM(マグニチュード)は、数字が1大きくなるとエネルギーは $10\sqrt{10}$ (約30)倍となり、関東大震災(M7.9、プレート境界型地震)は阪神・淡路大震災(M7.3、活断層のずれ)の約6倍のエネルギーが放出された計算になります。



震災直後の阪急三宮北口

東海・東南海・南海地震の発生周期



発生が危惧されている『南海地震』は、プレート境界型の周期的な巨大地震で、東海地震、東南海地震と並ぶM8級です。そして今後30年以内におきる確率は40%、50年以内だと80%で、死者は最悪の場合約2万人、三豊・観音寺地域の震度は、5強～6弱と予想されています。

[震度5強]
テレビが台から落ちたり、タンスなど重い家具が倒れたりすることがある。

[震度6弱]
立っていることが困難。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。耐震性の低い木造住宅では倒壊するものもある。

【防災クイズ】町に何カ所もあり、災害時には緊急災害救援場所となり、可能であれば水の供給やトイレの使用などを行うこととなっている民間の施設はどこでしょう？

【簡単かつ重要な備え】

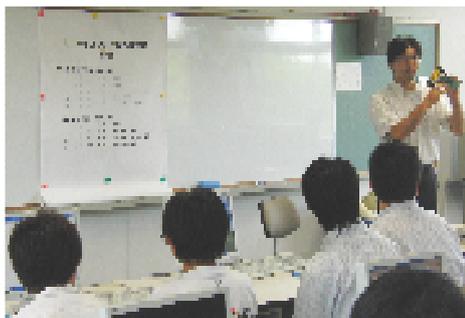
- ・懐中電灯とスリッパを手探りで取れるところに常備
- ・重い家具の固定

(体験談) 阪神・淡路大震災が起こった朝、私が真っ先に行ったのは、隣の子ども達の部屋です。寝ている近くに大きなタンスがあったからです。幸いにも無事でしたが、その日の夕方DIY店にL字金具を買いに行きました。しかし、ほとんどが売り切れており、僅かに残っていたものを購入し夜中にドライバーでタンスを壁に固定しました。

【クイズの答え】ガソリンスタンド・・・防災上、一般の建築物より耐震性が高く作られているため。

ミニマイコンカー講習会

7月31日(土)、8月1日(日)の2日間、本校が独自で行っている「ミニマイコンカー講習会」が催されました。これは毎年夏休みに中学生に向けて、ものづくりに興味を持ってもらおうと取り組んでいる行事です。参加者が自分で基板に部品を取り付け、コンピュータでプログラムを作成し、そして実際にコースを走らせてタイムを競い合います。初日は、はじめに車体の製作をしました。参加した中学生は、はんだ付け等の作業を行い、上手に完成させていました。次に、走行させるためのプログラムを学んだあと、特設コースで走行させ、自分で作ったミニマイコンカーが走っているのを見て非常に嬉しそうでした。さらに、より速く走らせるためにプログラムの変更にもチャレンジしていました。2日目は、タイムレースです。みんな速く走らせるためにプログラムを工夫しており、素晴らしい記録が続出して白熱したレースとなりました。参加した中学生たちからは「非常に楽しくて実りの多い2日間を過ごすことができた」という感想をいただきました。



一日体験入学

8月4日(水)、中学生が本校の実験・実習等を体験し、工業課程の学習について関心・理解を深め、進路選択に役立てることを目的とした一日体験入学を実施しました。最初にメカトロ部のロボット相撲やマイコンカーラリーを見学後、3グループに分かれて順番に各科の実習を体験しました。機械科では溶接と旋盤を体験、電気科ではリニアモーターカーの実演を見学し、第2種電気工事士の資格試験で学習する電気工事を体験、電子科ではライトレースカーを見学し、ポケットコンピュータを用いてプログラム実習を体験しました。各中学校から128名の3年生が参加し、工業高校の学習内容の理解を深めました。補助として対応した本校の生徒87名も三豊工業高校の良さを知ってもらおうと一生懸命に対応していました。



- 7/23 3級旋盤・3級フライス盤技能士実技試験 2,3級電子機器組立技能検定(技能)
- 7/24 第二種電気工事士技能試験
- 7/25 第二種電気工事士技能試験
- 3級旋盤・3級フライス盤・3級保全技能士学科試験
- 3級電子機器組立技能検定(学科)
- 8/7 2級ボイラー技士試験
- 8/3 3級機械保全技能士実技試験
- 8/21 2級旋盤技能士講習会
- 8/27 2級旋盤実技試験
- 8/29 2級旋盤学科試験 2級電子機器組立技能検定(学科)

各種
検定試験

猛暑日の続く中、
多数の生徒が部活動や
学業に励みました。

知的財産権 ～日亜化学工業株式会社で企業見学～

8月25日（水）、本校メカトロ部の生徒15名と教職員8名が企業見学へ行きました。本校は、平成22年度知的財産教育推進協力校の指定を受けており、各科とも知的財産教育に力を入れています。その実践として課題研究やメカトロ部を中心としたものづくりに取り組んでいます。今回見学させていただいた日亜化学工業株式会社は世界で初めて高輝度青色LEDの開発に成功した会社です。

今日では、信号機、各種ディスプレイのバックライト、電光掲示板など様々なところで日亜化学の技術が生かされています。そういった技術、アイデアを守るために、特許権、意匠権、商標権、実用新案権といった産業財産権があります。見学の最後に聞いた知財部の担当者の話によると、日亜化学が持っている知的財産を無断で使用し、訴訟に発展したケースが多くあるとのことでした。自社が多額の開発費を費やして製品化した技術を権利として保護するため知的財産権があるのだと実感しました。

↓ 巨大LEDディスプレイの前にて



↑ 3Dテレビ体験



↑ 展示ブース見学の様子



↑ 知的財産権についての説明

今年の求人状況

	今年度 8月末	昨年度 8月末	増減
県内	133	126	7
(三・観)	(51)	(44)	(7)
県外	144	199	-55
(四国内)	(20)	(16)	(4)
計	277	325	-48

単位は人、()の数字は内数

今年度の求人数は昨年度に比べると、県内の求人数がわずかに増加していますが、県外からの求人数は大きく減少しています。求人状況が良くないのは昨年引き続いています。また、他校との競争が増えているので、是が非でも一回で合格するよう全力で臨んで欲しいと思います。

三豊工祭テーマ決定！！

10月30・31日に開催される三豊工祭&サイエンスフェスタの今年のテーマが決まりました。

今年の統一テーマは『**刻め！！光る三豊工の足跡**』です。

このテーマには、三豊工の長い歴史を光る足跡に例え、その光る足跡をこれからも刻んでいきたいという思いと、地域の人々に三豊工の光る足跡を知ってもらいたいという思いが込められています。

提案者は機械科2年の山内健嗣さんです。みなさん、この秋、三豊工生の技術・アイデア・作品・各催し物をぜひ楽しみにして下さい。